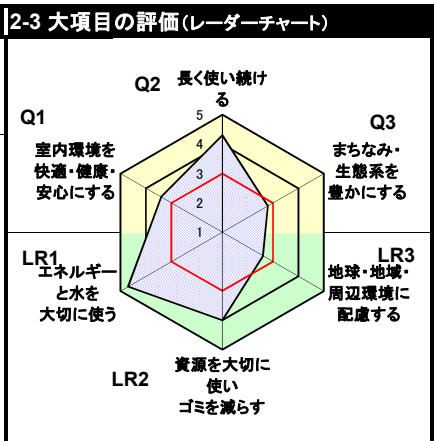
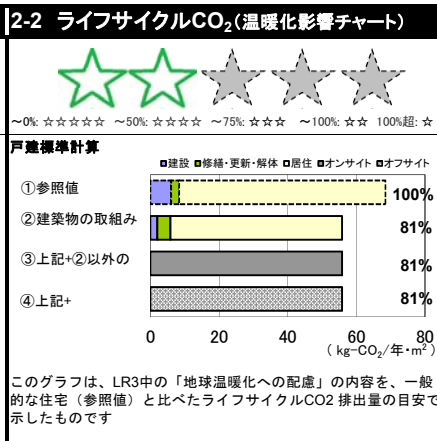
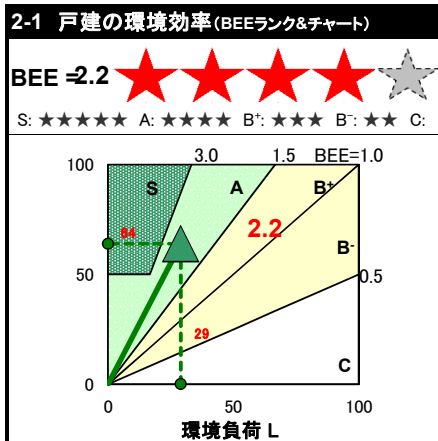
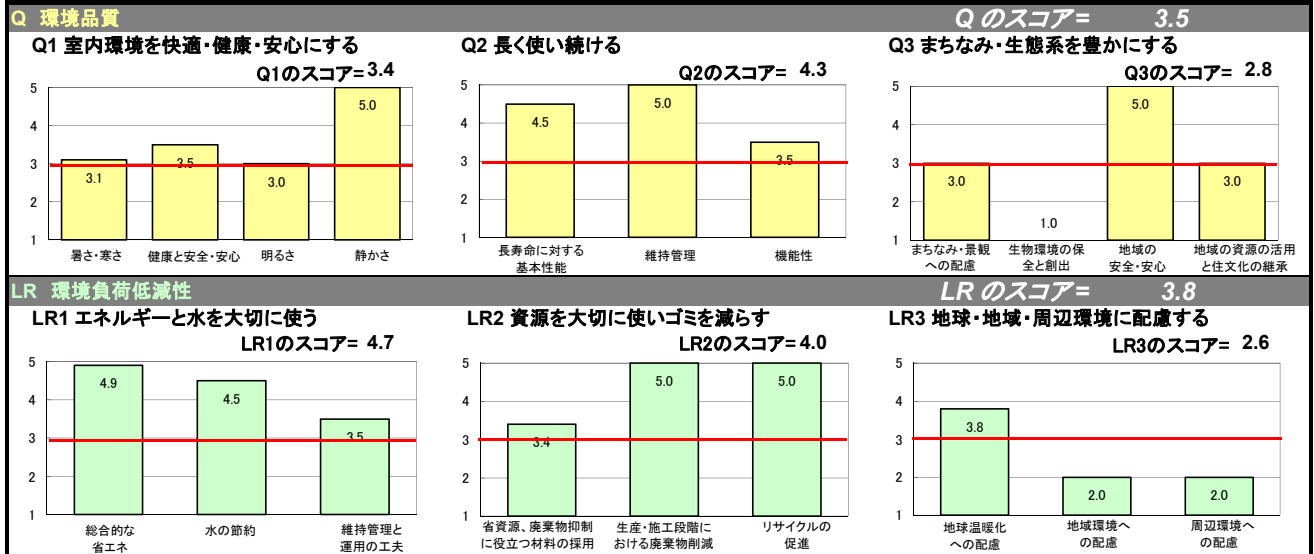




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	岸谷331① No.11	仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	一部確定 確定 仮	
竣工年月	2018年3月	竣工			
建設地	横浜市鶴見区岸谷三丁目1679-20	仮	<備考>		
用途地域	第二種中高層住居専用				
省エネルギー-地域区分	6地域				
構造・構法	木造/在来工法	確定			
階数	地上2階建て				
敷地面積	100 m ²	確定	評価の実施日	2017年10月30日	
建築面積	52 m ²	確定	作成者	清水 勝	
延床面積	104 m ²		確認日	2017年10月30日	
帯人数	4	仮	確認者	清水 勝	



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
耐震等級3、省エネルギー等級4を満たして、環境性能を高めている。また、長期優良住宅の認定も取得し、将来にわたり安心してお住まいいただける住宅としている。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 全てのガラス面に遮熱 LOW-Eガラスを採用し、断熱等性能等級4、一次エネルギー消費量等級5を取得することによって、快適に過ごせるよう、配慮している。また、玄関2ロック、窓サッシ補助錠付きとすることで、安心して過ごせるよう、配慮している。	Q2 長く使い続ける 劣化等級3を満たすよう、耐用年数の長い建材を選定している。また、維持管理のしやすいように外配管設計とし、定期的メンテナンスを行えるよう、配慮している。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 建物の高さ、形状、色彩を統一し、街並みの調和を図っている。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 節湯型機器を台所、浴室に、食器洗浄機を台所に設置し、トイレの便器に節水型便器を使用することで、省エネに配慮している。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 外装、内装、外構の一部にリユース材を使用している。また、パワースタイル工法を採用することで、プレカット時のロスを軽減している。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 岸谷331⑩ No.11

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

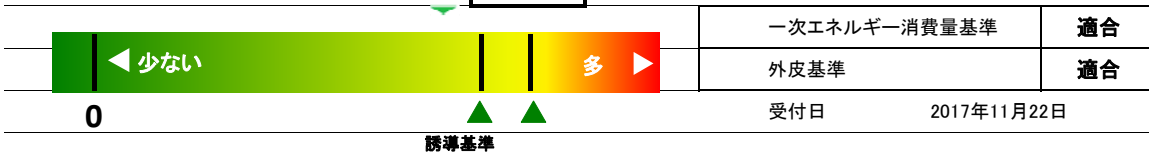
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 20 %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①BEIが0.85以下。
- ②電気便座 多段階評価3つ星以上、ガスコンロ省エネ基準達成率100%以上
- ③取り扱い説明書+かしこい住まい方ガイドを説明する

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

④省エネルギー等級4を取得・全てのガラス面に遮熱LOW-Eガラスを採用(日射侵入率0.40)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている・玄関2ロック+窓サッシ補助錠付としている。
- ⑤玄関2ロック+窓サッシ補助錠付としている

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 あり

⑥主要な居室において、二方向に開口部がある。または一方向開口でも通風・排除を促進する取組みがなされている。

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑧劣化対策等級3を満たしている・サイディング金物工法を採用。耐用年数は約40年
コロニアル葺きとしています。耐用年数30年・耐火等級(開口部以外)等級3を満たしている

長期優良住宅の定期点検計画、住宅履歴システム(プロパティオン)登録

⑨敷地内通路500mm以上確保、境界部を軽量フェンス(添付資料参照)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

⑩建物高さ、形状、色彩を統一して全体調和に配慮

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入